

学校問題ADRあっせん（仲裁）申立書

東京弁護士会紛争解決（仲裁）センター 御中

申立年月日

2021年〇月〇日

申立人	住所	〒100-0000 東京都千代田区〇〇町〇〇-〇〇 〇〇マンション〇〇号室	
	氏名	TEL 012 (345) 6789 (保護者名・学校名) 東弁 一郎 印 東弁 花子 印 (子どもの名前) 東弁 太郎(11歳)	
申立人代理人	住所	〒	
	氏名	TEL ()	印
相手方	住所	〒0000-0000 東京都千代田区〇〇町〇〇-〇〇	
	氏名	TEL 123 (456) 7890 (保護者名・学校名) 学校法人△△学園 △△△小学校 (子どもの名前) 東京 次郎	
相手方代理人	住所	〒	
	氏名	TEL ()	

※未成年者の場合（相手方が未成年者となる場合も含まれます。）、保護者（親権者）の氏名をご記入の上、当該未成年者の氏名・年齢をご記入ください。

※保護者が当事者となる場合でも、子どもの氏名・年齢をご記入ください。

第1 申立の趣旨（申立人が相手方に対し求める結論）

次の1から3の番号から選択して○印をしてください。また、必要に応じて空欄を補充してください。

1 金員（ 円）の支払い

② 相当な金員の支払い

③ 次の具体的行為

・相手方は、申立人に対し、2021年○月○日に起きた事故について、事実と原因を解明し明らかにする。
・相手方は、申立人に対し、申立人東弁一郎と東弁花子をクレーム扱いしたことについて謝罪する。

とのあっせんを求めます。

第2 申立の理由（申立人が相手方に対し主張する申立の根拠）

1 本件は、

○学校事故、いじめ、体罰、性的トラブル、○不登校、その他（ ）に関する紛争です。

※上記の項目から本件において該当する項目を選択し、○印をしてください。また、必要に応じて空欄を補充してください。

2 具体的事実

(1) 当事者の関係

東弁太郎（以下「太郎」といいます。）は、学校法人△△学園△△△小学校に通う小学5年生の男の子です。相手方は、学校法人△△学園△△△小学校です。

(2) 太郎の学校での事故

○○○○年○月○日、学校法人△△学園△△△小学校で、太郎が教室の掃除をしているときに、同じクラスの次郎くんが振り回した箒が太郎の目に当たり、けがをしました。担任の先生が事故当時教室内にいたため、事故後、太郎は担任の先生に連れられて保健室に行きました。その後、太郎は、保健の先生の判断ですぐに眼科で

診断を受けました。太郎は、この事故で目に全治2週間のけがを負ったものの、幸いにも傷は完治して、後遺症や傷跡が残ることもありませんでした。

もっとも、太郎は、今回の事故で目をけがしたことがよっぽど怖かったのか、事故以来、学校を休んでおり、けがが治った現在も不登校を続けています。また、今回の事故の原因を教えてほしいと学校に申し出たのですが、学校は、私たちのことをクレーム扱いし、何も教えてはもらえませんでした。

(3)相手方への要求

まず、学校側には誠意をもって、今回の事故の事実と原因を解明して教えてほしいと思います。また、今回の学校は私たちをクレーム扱いしたことに謝罪するとともに、相当額の慰謝料を支払ってほしいと考えています。

以上

立証方法

1 診断書

※申立の理由を基礎付ける証拠がある場合には、その写しを添付してください。

添付書類

1 申立書 3通

2 証拠書類(写し) 3通

3 戸籍全部事項証明書 1通

※原則として、申立書3通と証拠書類の写しを各3通添付してください。

※法人の場合には、その法人の代表者の資格証明書を添付してください。

※未成年者の場合(相手方が未成年者の場合も含まれます。)には、その親権者であることがわかる書類を添付してください。

※代理人が就く場合には、委任状を添付してください。